

トヨタホーム「シンセシリーズ」1・2・3階建ての3商品を新発売。
- 「安全・安心」をテーマに、日本の環境・風土に対応した「生涯健康住宅」-

トヨタホーム株式会社は、鉄骨ユニット工法「シンセシリーズ」の主力量販商品である、「シンセ・スマートステージ」を全面改良した「シンセ・スマートステージ ミュウ¹」、都市近郊の建替え層をターゲットとした3階建商品「シンセ・ヴィトロワ²」、およびトヨタホーム初の平屋建商品「シンセ・ピアーナ³」の3新商品を、4月27日(金)より、宮城県から大分県までのトヨタホーム販売店22社(27都府県)を通じて発売する。

また、トヨタホームは、近年、「安全・安心」をテーマに、商品力の強化を図っており、地震対策を施した「生涯耐震住宅」、住宅侵入対策を施した「360°防犯住宅」、お子様をはじめとするご家族の健康に配慮し、有害物質対策などを施した「健康住宅」に取り組んできた。今回の3新商品では、さらに断熱性能を向上させた「生涯健康住宅」を実現している。

「生涯健康住宅」は、下記3点を主な特徴とし、日本の環境・風土に対応し、ご家族の未永い、健康で快適な暮らしを実現している。

ユニット工法ならではの¹大空間・大開口による、「明るく開放的な快適室内空間」
有害物質の最も少ない「F²」建材の全面標準化と24時間換気による、
「人の健康によい、空気環境」
開口部・床下・壁・天井の断熱性能を強化し、「日本の四季を通じての快適室温」
併せて、「暖かな冬」を実感いただくための特別価格を設定した「生涯健康住宅キャンペーン」を、このゴールデンウィークより実施する。

1：「ミュウ」とは、フランス語の mieux (よりよい) と英語の new (新しい) の造語。トヨタホームのベストセラー商品「シンセ・スマートステージ」がより良く、新しくなったことを表現している

2：「ヴィトロワ」とは、フランス語の vie (生活) と trois (数字の3) の造語。3階建ての生活、3倍楽しめる生活空間を表現している

3：「ピアーナ」とは、イタリア語で「平面の」という意味。平屋ならではの平面空間を表現している

各商品及び「生涯健康住宅」のポイントは、以下のとおり。

1. シンセ・スマートステージ ミュウ(2階建)

トヨタホームの主力量販商品「シンセ・スマートステージ」を全面改良した、20代後半から30代の一次取得層向けの商品。

「家族をはぐくむ家」をコンセプトに、外観デザイン向上と居心地の良い空間設計によって、子育て世代の家族のコミュニケーション・ステージ(場所)となる住まいを提案。

(1) 商品特徴

街並みに美しく調和する外観デザイン

- ・屋根、庇やサッシの縦横ラインが、すっきりとした住まいを印象付ける、シンプルで洗練された外観デザイン
- ・接道方向にかかわらず、魅力的なファサードデザインを作ることができるアクセントスリット窓やタイル外壁

家族をはぐくむ多彩な生活空間

- ・空間をつなげることで、より家族が集まる、コミュニケーションの中心としてのリビング
リビングアクセス：リビングにスケルトン階段を設け、その上部を吹き抜けとすること（リビング+階段）で、1・2階を機能的につなぎ、コミュニケーションを促進。
リビング+和室：多目的に使える和室をリビングに隣接させ、親子の触れ合いや季節の行事を楽しむ場として活用
リビング+庭：リビングと庭をつなぎ、光と風を爽やかに取り込む
- ・食育の場となるオープンなダイニングキッチン
- ・成長に合わせて変化する子供部屋と第2のリビングとなるファミリーホール

快適生活のための充実した設備

- ・機能的な収納スペースを備えたシステムキッチンには、食洗機を標準装備
- ・水廻り(キッチン・浴室・洗面・トイレ)設備に節水型機器を採用し、年間の水使用料を約46,000円節約(当社同種・同規模住宅での1990年比)
- ・C P 4部品(防犯性能が高い建物部品)の採用による防犯対策

- 4：C Pとは、警察庁、国土交通省、経済産業省と建具や防犯機器関連の業界団体などで構成する「防犯性の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」が定める、厳しい性能試験にパスした防犯性能の高い建物部品に与えられる標章。C Pは「防犯」を意味する英語「Crime Prevention」のイニシャル。

(2) 本体価格

代表プラン(延床面積135.18㎡)で、坪(3.3㎡)当たり49.4万円(参考標準販売価格)

*価格は、2007年12月までに据付いただいた場合のキャンペーン価格

(3) 07年度販売目標 3,000戸

2. シンセ・ヴィトロワ(3階建)

都市近郊の建替え層をターゲットとした、単世帯・二世帯向け3階建商品。

「家族の想いをかなえる住まい」をコンセプトに、「高さ・広がり・彩り」のある住まいを提案

(1) 商品特徴

縦の広がり

- ・都市近郊の密集地でも、周囲に気兼ねすることなく、心地よい光と豊かな緑に包まれるコートヤード(中庭空間)
- ・明るい光と爽やかな風を各フロアへ導く広い吹き抜け
- ・眺望も良く、明るく風通しのよい2階リビング

横の広がり

- ・補強の壁や柱を必要としない鉄骨ラーメン構造だからできる大開口、大空間
- ・リビングやダイニングとコートヤードをつないで自然を取り込んだ快適空間

プラスアルファの提案

- ・2台並列駐車も可能なインナーガレージ
- ・光を浴びながらの読書や、天体観測など多目的に楽しめる3階ビッグバルコニー

(2) 本体価格

代表プラン(延床面積 185.62 m²)で、坪(3.3 m²)当たり 57.7 万円(参考標準販売価格)

* 価格は、2007年12月までに据付いただいた場合のキャンペーン価格

(3) 07年度販売目標 200戸

3. シンセ・ピアーナ(平屋建)

団塊世代夫婦ふたりの建替え・住み替えをメインターゲットとした、トヨタホーム初の平屋建商品。「もっと豊かに自分らしく」をコンセプトに、シニア層の新しい暮らしを提案する。

(1) 商品特徴

大地に根ざした安定感のある外観

建物に陰影を造り出す、深い軒やアルコーブ(壁面の一部を後退させてつくった空間)を効果的に使ったフォルム

これからの暮らしを豊かにする生活提案

- ・優しさの距離 : リビングを中心に各部屋がゆるやかにつながり、お互いがさりげなく気配を感じられるプランニング提案
- ・癒す(自然を感じる) : 光を浴び、風を感じ、自然とふれあえるLDKやアトリエ等一体となって使うことができる中庭や通風設計提案
- ・集う(皆で楽しむ) : 住み慣れた街で、家族や昔からの友人が集える、大空間リビングや土間提案
- ・嗜む(自分を楽しむ) : 本当に好きなことに浸れるアトリエ等の趣味空間の提案

暮らしをサポートする設備機器

シニア層の住まいでの負担を軽減するユニバーサルデザイン仕様を推奨

- ・将来の加齢による腕力・脚力・視力などの低下に備えた、電動シャッターや手摺、夜間のトイレ移動を助けるLED(発光ダイオード)足元灯の設置
- ・家全体の断熱性能の向上に加え、床暖房や浴室・トイレへの暖房機能などによるヒートショック⁵対策
- ・一人でいるときも安心の、CP部品の採用と施錠忘れ防止の窓施錠モニター、センサーライトカメラなどによる防犯対策

5 : 急激な温度変化が体に及ぼす影響のこと

(2) 本体価格

代表プラン(延床面積 99.34 m²)で、坪(3.3 m²)当たり 51.4 万円(参考標準販売価格)

* 価格は、2007年12月までに据付いただいた場合のキャンペーン価格

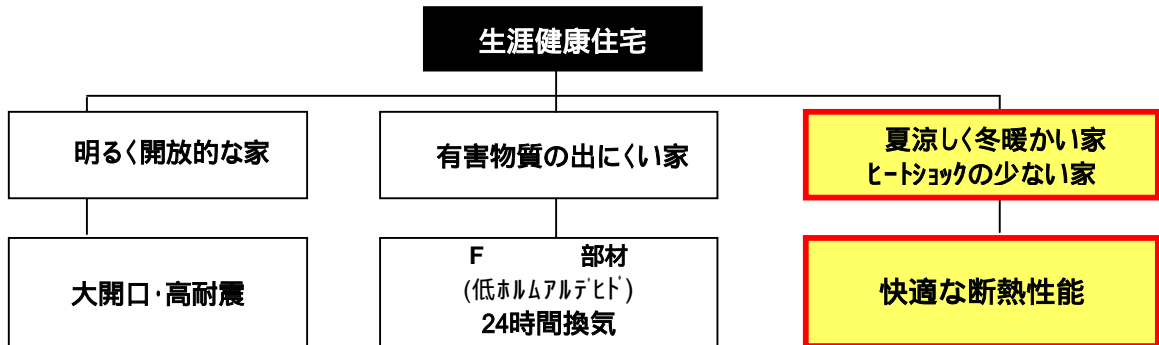
(3) 07年度販売目標 100戸

4.さらなる安全・安心の住まいへ、「生涯健康住宅」

トヨタホームの「生涯健康住宅」は、日本の環境「地震大国。欧米に比べ、土地が狭く、近隣とのプライバシー配慮が必須」ならびに、日本の四季「暑い夏・雨が多く湿りやすい梅雨と秋・寒い冬」への対応を考慮し、優れた耐震性と大空間・大開口が自由に作れる空間を実現しながら、夏涼しく冬暖かい、断熱性能を有している。

「生涯健康住宅」のポイントは以下の3点で、特に今回の改良では断熱性能を大幅に強化した。

【トヨタホームの「生涯健康住宅」の概念】



(1) 「夏涼しく、冬暖かい家」、「ヒートショックの少ない家」のための対策

個別の対策ではなく、家全体のトータルバランスにより効果的な対策を実施

外壁・床・天井の断熱材の仕様アップと玄関ドアの断熱化により家全体を包み込む

熱が逃げやすい全開口部の断熱サッシ化と、熱を通しにくい高遮熱断熱複層ガラスの採用

熱が出入りしやすい柱・壁などの鉄骨周りには、断熱材を充填し、ヒートブリッジ（建物内外を熱が通り抜け易い場所）を防止

建物の足元から熱を逃がさない、冷えを取り込まない基礎断熱仕様の導入

【家全体の断熱の考え方】

■家全体の断熱



※基礎断熱(オプション)選択の場合床断熱はなくなります。

(2) トヨタホームの高い断熱性能

今回の断熱性能アップにより、トヨタホームの販売地域(断熱性能地域区分⁶・地域)での断熱性能において、住宅性能表示項目「温熱環境」のトップランク「等級4」の基準Q値⁷を大幅に上回る、鉄骨プレハブ住宅でトップレベルの断熱性能を実現した。

■省エネ基準レベルとトヨタホームの断熱性能(Q値)の比較

※1 断熱性能 地域区分	品確法の等級			
	等級4	等級3	等級2	
	トヨタホーム ^{※2}	次世代省エネ基準レベル 1990年以降の基準	新省エネ基準レベル 1990年以降の基準	旧省エネ基準レベル 1980年～90年頃の基準
Ⅲ地域	2.08	2.40	3.30	4.70
Ⅳ地域	2.12	2.70	4.20	5.20

※1 北海道から沖縄までを6つの地域(Ⅰ～Ⅵ地域)に分類し、それぞれの地域での住宅の断熱性能を規定

※2 当社の一般的な住宅のモデルプラン(135.18㎡)にて算出

6：新省エネルギー基準で定められた、断熱性能の地域区分。日本全国を6つの地域に分類し、それぞれの地域での断熱性能を規定している。

7：「Q値」とは、熱損失係数(W/㎡K)を表す。室内外の温度差が1の時に、床面積1㎡あたりで1時間に逃げる熱量。その値が小さいほど断熱性能が良いことになる

(3) 断熱性能向上の効果

省エネ

1980年代(建替え需要物件)に建てられた旧省エネルギー基準の平均的な住宅に比べて、年間約70,000円削減。(約135㎡の建物で間欠空調を実施した場合の差額<名古屋市>)また、空調停止後も室温が極端に変わらない。

快適

室内の天井と床の温度差の緩和と壁と床面の温度差緩和による体感快適性の向上

健康

強い冷暖房による身体への影響(冷え・乾燥)を抑制し、住まい全体の温度差が少なくなることにより、ヒートショックの少ない家

<ご参考>「生涯健康住宅」その他の項目について

明るく開放的な家

トヨタホームでは、高層ビルにも採用される鉄骨ラーメン構造により、耐力壁がないため、高い耐震性能を保ちながら、大開口が可能。明るい日差しと爽やかな風を感じる住まいが実現。

有害物質の出にくい家

「シックハウス症候群」の原因と言われている住宅建材や家具などから発生するホルムアルデヒドについて、トヨタホームでは下地材や仕上材に放散量の最も少ない、F_{☆☆☆☆}の建材を採用。実際の建物を使った放散量の測定値では、放散し易い夏季の高温時でも、厚生労働省の指針値の1/2程度。